



厚木ロータリークラブ週報

JAPAN 第2780地区

Atsugi Rotary Club Weekly

幸司也介	長原良幸
栗原卓也	長前建部
黄金陽	幹事
鈴木茂	幹事
副会長	副会長
副会長	副会長

ロータリーのマジック

2024～2025 国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

例会場 厚木商工会議所 5F 大会議室

例会日 毎週火曜日 12:30～

事務所 厚木市栄町1丁目16番15号 厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp メールアドレス info@atsugi-rotary.jp TEL.046-222-5811 FAX.046-222-5821

第3104回例会(2月18日)☆司会 山本晃久 副SAA

点鐘 …栗原良幸会長

斉唱 …奉仕の理想

会長の時間

春本番に向けて、三寒四温の時期に入ったみたいです。2月9日(日)のIMにご参加頂きました会員の皆様ありがとうございました。特に、常磐研修リーダーと建部幹事、お疲れ様でした。今年のIMはいつもと違い楽しい雰囲気でしたが、内容については色々なご意見があると思います。そして、2月4日(火)の炉辺会談では「クラブ・バナー」の話がありました。今日の例会でお話ししますのでご覧ください。

会長報告

◎ガバナー事務所 より

- ・2025年6月22日開催 「RI理事主催親善朝食会」のご案内
- ・奉仕プロジェクトに関する報告提出のお願い【ロータリーマジック賞にも活用】
- ・会長エレクトラーニングセミナー(PELS)開催のお知らせ
- ・米山奨学生の世話クラブとカウンセラーお引き受けについて
陳 冠傑 (タン, ゲアジエー)
性別: 男 国籍: マレーシア
神奈川工科大学(3年)
- ・第2回補助金管理セミナーのご案内(グローバル補助金申請クラブ)

・第9回 日台ロータリー親善会議 札幌大会のご案内

◎ロータリーの友事務所 より

・ロータリー手帳お買い上げのお願い

◎ロータリー米山記念奨学会 より

・ハイライトよねやま Vol.299

委員会報告

◎スマイル・出席・プログラム委員会

出席状況の報告、スマイル発表

スマイル

栗原良幸会長・建部卓也幹事

先週のIMにご参加の皆様、ありがとうございました。特に、常磐会員ご出演ありがとうございました。さて、本日の例会は、山本会員による卓話です。お話を楽しみにしています。よろしく願いいたします。

本多正彦君

「90才 何がめでたい」と言うが、祝ってくれれば元気になります。御迷惑をお掛けしますが、よろしく。

本多正彦君

孫が中学受験で「駒東」に合格しました。通学が大変ですが頑張ってもらいたい。

前田賢一君

妻の誕生祝いありがとうございました。とても素敵なお花でした。この間、三男が小林さんの息子さんのレッスンを受けてきました。上手にホメてくれて本人やる気満々で帰ってきました。昨日からフィリピ

今日のお祝い 「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

* 事業所開設

難波有三君(28日)
稲場 淳君(3月1日)

* 会員誕生日

西寫洋一君

* 入会記念日

柳田純昭君(H9.2.25)
市川信也君(H26.2.25)
小島久美子君(R2.2.25)

今日の例会 (2025年2月25日)

「療育について」

担当: 黄金井陽介君

講師: ハッピーライフ(株) 清水佑将様

次回の例会 (2025年3月4日)

「創立記念例会」

担当: 栗原良幸会長

ンに行って、大学卒業前のひと時をフィリピンでゴルフとカジノのポーカー三昧とのことです。小林さん、いつも心遣いありがとうございます。

和田勝美様

今日の卓話はエース山本さんですね。楽しみです。

本間裕介君

先日の炉辺会談ありがとうございました。貴重なお話をうかがえてとても勉強になりました。また2次会では新入会員同士人柄が分かるととても楽しい場でした。

中原真也君

先日の炉辺会談に参加させていただきありがとうございました。厚木ロータリーの歴史など知る機会となり、1次会2次会と楽しく過ごすことができました。引続き宜しくお願いします。

川畑直也君

先日の炉辺会談ありがとうございました。歴代会長のお話を聞いて勉強になりました。2次会でも市川

さん、常磐さんにお世話になりました。ありがとうございました。

原田忠洋君

先日の炉辺会談ありがとうございました。まだまだ右も左もわかりませんが、今後とも宜しくお願いします。

黄金井陽介君

所用により早退させていただきます。

今日のお花



ニゲラ (栗原良幸会長)

例会「現在の貨幣価値で比べる江戸の生活」

担当：山本晃久君



生い立ちと背景

- ・1750年（寛延3年）、新吉原の商家に生まれる
- ・7歳の時に両親が離縁し、喜多川家の養子に入る
→この喜多川家の屋号が「葛屋」であった
- ・幼少期から書物に親しみ、出版業に興味を持つ
- ・若い頃から書籍販売の修行を積み、1772年に独立

耕書堂の開業

- ・1772年（安永3年）、吉原に「耕書堂（こうしょどう）」を開業（当初は評議館とした）
- ・遊郭文化の中心地であり、文化人との交流が活発
- ・色恋や遊郭を題材にした洒落本の出版に注力

戯作文化の発展

- ・洒落本・黄表紙の出版に力を入れる
- ・山東京伝（さんとうきょうでん）、恋川春町（こいかわはるまち）、朋誠堂喜三三（ほうせいどうきさんじ）らを支援
- ・庶民の間で読み物文化が広がり、江戸の娯楽文化を支える
- ・洒落本は遊郭の人間模様、黄表紙は世相を描いた読み物のことです

幕府との対立と弾圧

- ・寛政の改革（松平定信の政策）により出版規制が強化
- ・1791年（寛政3年）、山東京伝の『通言総離（つうげんそうまがき）』が風紀違反で発禁
- ・葛屋重三郎も処罰を受け、出版活動に制限がかかる



浮世絵の革新と支援

- ・喜多川歌麿を発掘し、美人画を発展させる
- ・東洲斎写楽を支援し、斬新な役者絵を世に出す
- ・菱川師宣以来の浮世絵を大衆文化の中心に押し上げる

代表的な出版物

- ・喜多川歌麿『婦女人相十品（ふじょにんそうじゅうほん）』
- ・東洲斎写楽『役者絵シリーズ』
- ・山東京伝『通言総離（つうげんそうまがき）』
- ・恋川春町『金々先生栄花夢（きんきんせんせいえいがのゆめ）』
- ・朋誠堂喜三『文武二道万石通（ぶんぶにどうまんごくだうし）』



葛屋重三郎の晩年

- ・1797年（寛政9年）、5月8日48歳で生涯を終える
- ・最後の言葉は「人生の幕引きを告げる拍子木はまだ鳴らないのか」
- ・勢と張りと言落を貫いた江戸っ子らしい幕引き
- ・死因は脚気（別名：江戸傾い）であった



ここからはクイズです

- ・前半戦は〈江戸時代の仕事とお金〉にまつわる問題です。
- ・現在同じ仕事をしている方たちと比べながら問題を出していきます。

米	金	銀	銭	現在の価格
1石	1両	60匁	4,000文	100,000円

【第1問】

江戸時代、8代將軍徳川吉宗の年収は？
ヒント：2024年の内閣総理大臣の年収は約4061万円です

- ①約2000万円
- ②約8億6000万円
- ③約1兆4000万円



インターシティミーティング (IM) 2025年2月9日 レンブラントホテル海老名



出席報告 <会員 35名、出席対象 31名>

1月28日例会 確定出席率 100%

<事後メイク>

黒柳告芳君(2月9日/IM)

小島久美子君(2月9日/IM)

齋藤英樹君(2月9日/IM)

長岡正敏君(2月9日/IM)

中原真也君(2月9日/IM)

2月18日例会 出席 28名 欠席 5名 出席率 90.32%

<事前メイク>

滝澤 勇君・西迫 哲君

<欠席>

黒柳告芳君・長岡正敏君・早寄慶一郎君